

## 令和5年度教育研究活動報告書

氏名	市川 彰	所属	芸術文化学部美術学科
学位	修士	職位	教授
専門分野	日本美術史、博物館学		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	日本美術史Ⅰ、日本美術史Ⅱ、博物館資料論、博物館展示論、博物館経営論、博物館実習Ⅰ、博物館実習Ⅱ、美術表現入門
大学院	美術史特講（日本）
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）18世紀京都画壇の研究	
（2）地誌・名所図会に記された京都の名宝に関する研究	
本年度を含む過去3年間の研究業績 R5・R4・R3	
R5	〈その他〉『山州名跡志』を読む（一）、尾道市立大学芸術文化学部紀要第23号、2024
R3	〈その他〉名所図会に記された京都の「名宝」（九）-『都林泉名勝図会』巻之四～五-、尾道市立大学芸術文化学部紀要第21号、2022
R2以前の主な研究業績	
（1）〈論文〉	若冲画に示されたもの-「動植綵絵」以前の三件の鶴を主題とする着色表現をめぐる-、『研究紀要』第20号、京都大学文学部美学美術史学研究室、1999
（2）〈論文〉	若冲画に示されたもの2-《初期作品》「雪梅雄鶏図」をめぐる-、京都文化博物館紀要『朱雀』第19集、2007
（3）〈論文〉	若冲の《最初期の着色画》、「雪中雄鶏図」をめぐる-、「美術に関する調査研究の助成」研究報告、鹿島美術財団、2002
（4）〈その他〉	『都林泉名勝図会』に記された「名宝」、京都文化博物館紀要『朱雀』第20集、2008
（5）〈その他〉	狩野永敬筆「十二ヶ月歌意図屏風」について～平成21年度修繕報告を兼ねて～、京都文化博物館紀要『朱雀』第23集、2011